

「さんな土でしも柱をつくろう！」

山南小学校 6年 門田 恵奈

さんな土でしも柱をつくろう!

<用意する物>

カッパめんのうわ、さんな場所の土、お湯、ぬる湯。

<作り方>

1. カッパめんのうわに 土を入れる。
2. 線までお湯を入れる。
3. 土を足してぬる湯をかける。 下りの層がなくなる
4. 朝までそのまゝしも柱ができそうな場所に置く。

種類	特徴	色	水分	その態	土の様子
畑の土		黒っぽい	多い	土のがたまりかたがさんあった。	
山の土		うすい茶色	少ない	石が多い サラサラしている	
川の土		黒っぽい	多い	小石が多い 砂のようでごまろない	
工事現場の土		茶色	少ない	小石が多い	



1/2(土) 晴 (0℃)

土が固まりました。
土の表面やカッパの内側に少ししも柱ついていた。水が多かたのかと思ひ、水を少なくしたり土を足した。また、寒すぎで固まらなからしめたいと思ひ、段ボール箱に貼た。

1/3(土) 晴 (0℃)

畑の土、山の土、川の土にしも柱ができていた。工事現場の土は土がこびついてできなかった。

夏の土もしも柱がたかさんできなくて、しも柱ができてやすい田だった。



種類	結果	気づいたこと	土の様子
畑の土	◎	しも柱ができ、土の表面が凍り上がっていた。お湯とたかこびり着いた。	
山の土	○	しも柱ができ、土の表面が凍り上がっていた。畑の土よりは少なかった。	
川の土	○	山より多くのしも柱ができていた。畑の土よりは少なかった。	
工事現場の土	×	しも柱はできていなかった。土はこびっていた。	

<まとめ>

畑の土が一番しも柱ができた。水分が多い川の土もしも柱が少しできていた。

冬になり土をふむと「サクッ」というしも柱の音がします。身の周りにはいろいろな土がありますが、どんな土にしも柱ができてやすいか疑問に思いました。様々な土の特徴も考え、4種類の土でしも柱をつくる研究をしました。